

指導部より

この1年を振り返ると、良いことの多い年だったように思います。全国大会6名入賞、吉田沙保里教室開催、デジタルコンテンツ大賞受賞、大間々大会団体優勝等々、その他にも審判資格3名取得や全国女子強化合宿参加など盛りだくさんでした。

試合では、練習成果を発揮できなかったものが、最近では成績として現れてくるようになりました。まじめに取り組んだ子どもたちの頑張りだと思えます。

他のクラブと比べ、決して練習量は多くはありませんが、主任を中心に、今年度も個人のレベルアップ、クラブとしてのレベルアップを目指します。

また、一昨年度懸念された行事等への参加率低下も、昨年度は解消されてきたように思います。スキーを例にとっても41名の参加と以前に近い参加者でした。

私たち指導者は、クラブ経営者として、子どものために何が必要か、何をなすべきかを考えていきます。そのためには子ども・父母との対話をできるだけ多く持っていきたいと思います。

最後に、他少年団と比べ、我がクラブは試合や行事が多く、それに伴う費用も少なくありません。父母の方には大変負担をおかけします。しかし、それに対する効果も大きいと考えていますので、今後とも物心両面のご支援ご協力をお願いします。

代表指導者 藤田 貴則

平成17年度の後半、大子ジュニアレスリングクラブは、大間々大会において、団体優勝を果たした。子ども達一人一人の努力が確実に力となり自信につながってきている。

平成18年は、特に、高学年のがんばりがクラブ全体のレベルアップにつながる様、高学年の指導に力を入れていきたい。今年初頭に立てた一人一人の目標を達成できる様、子どもとともに確認しながら、心も体も成長できるよう指導に当たっていきたい。

小学生主任 長山 章

昨年は、練習内容はもとより環境が整っていなく、小学生よりも良い練習が出来ませんでした。その点を反省して、今年は初めて女子中学生も入ってきたので、練習の環境作りに力を入れていきたいと思います。

中学生主任 椎名 幹夫